「みんなでつくろう　元気いっぱい　あいさついっぱい　笑顔いっぱい　の学校」

佐野市立犬伏小学校

校長室だより

令和5年度　第27号
R6.3.19
舘野　道明

とても すばらしい 卒業式 でした！！

南校舎の窓から見える白木蓮は、満開となり、たくさんの花が見事に咲き誇っています。

6年生がいなくなった休み時間の校庭は、やたらと広々と感じます。

3月15日（金）12時30分から2名、
3月18日（月）10時30分から1名、
都合により卒業式に参加できなかった児童及びその保護者に方に参加していただき、今年度の卒業生88名、全員に卒業証書を授与することができました。たいへんうれしく思います。

本校の伝統であると言ってもよいかと思いますが、卒業生の態度がとても立派でした。

まずは、返事です。名前を呼ばれたときの**「はいっ。」**という返事です。息を大きく吸ってから全身全霊で行う**「はいっ。」**には感動しました。もちろん個人差はありますが、全力でしっかりと返事をすることが当たり前のこととして、根付いていますことにすばらしさを感じました。

また、卒業証書を受け取ったときの**「ありがとうございます。」**には、保護者の皆様、教師、地域の方々など、自分が関わった全ての方々への感謝の気持ちが込められていました。

とても立派でした。

6年前、入学式での「はい。」や「ありがとうございます。」とは比べものにならないほどです。

これこそが、**6年間の成長、学びの証**であると確信します。

それぞれの中学校において、自信と誇りと元気と勇気をもってさらに活躍してほしいと思っています。

今年度の卒業式は、**「歌で旅立ち、歌で送る」**ということをコンセプトにして臨みました。

「気持ちを歌に込めて、気持ちを歌で伝えること」を目標に、それぞれの学年で練習に取り組みました。

6年生の「旅立ちの日に」、5年生の「大空がむかえる朝」、1から4年生の「にじ」、各教室等に、歌詞を大きく掲示し、その歌詞の意味をかみしめながら歌うように練習しました。

この年代によく聴いたり、歌ったりした音楽は、大人になっても覚えているとも言われます。

ぜひ、そのようにお子さんたちの心にも、記憶にも残る歌になってくれたらいいなと思っています。

また、5年生は、卒業式で歌った「大空がむかえる朝」
「♪あの大空を　見上げながら　力合わせ　助け合い　わたしたちも続く♪」の歌詞にありますように、卒業式の準備、清掃、飾り付けなど、どんな仕事にも熱心に取り組んでいました。いろいろな仕事を任せられ、こなしていくうちに、自覚も高まり、意欲につながっていることがよく分かりました。

6年生から渡されたバトンをしっかりと受け継いでいってほしいと思います。